

安全衛生環境情報

アイ・シー・ティー 株式会社

作成 衛生管理者 小林

令和7年7月 ICT 重点災害防止活動項目

1. 感染症予防対策月間(継続)

- 1) 密閉空間・密集場所・密接場面が重なる状況を避ける
- 2) 十分な睡眠と規則正しい食生活で、免疫力を高める
- 3) 外出後の手洗い・うがいの実施、こまめな部屋の換気と十分な湿度の保持をおこなう
- 4) コロナ及びインフルエンザワクチン接種は、高齢者、基礎疾患のある人については接種を推奨する

2. 国民安全の日（7月1日）

私たちの日常生活には、見えない危険がたくさん潜んでいます。しかし、その危険に対する意識を高め、予防することで、多くの事故や災害を未然に防ぐことが可能です。そんな大切な意識を国民全体に呼びかけるために制定されたのが「国民安全の日」です。

1960年(昭和35年)5月、総理府(現:内閣府)の閣議により「国民安全の日」が制定されました。これは、産業災害、交通事故、火災といった様々な災害を防ぐことを目的としています。

日本では、労働災害や職業病が社会問題となり、1928年(昭和3年)から7月1日～7日を「全国安全週間」と定め、職場での安全を訴えていました。それが今日の「国民安全の日」へと発展し、7月1日がこの記念日とされています。

現代社会では、技術の進歩により新たな危険が生まれつつあります。インターネットの普及による情報の安全性や、新型ウイルスの流行による健康への脅威など、私たちの安全を脅かす要因は多岐にわたります。そうした中、「国民安全の日」は、単に物理的な安全だけでなく、情報セキュリティや健康管理といった、より幅広い安全に対する意識を高める機会となっています。

また、災害時の備えとしての防災意識の向上にもこの日の重要なテーマの一つです。地震や台風など自然災害が多い日本において、備えあれば憂いなしです。

「国民安全の日」に関連して、企業や学校、地域社会では様々な安全対策が行われています。

「国民安全の日」は、私たちが安全に関する意識を普及させるための大切な機会です。この日を通じて事故や災害の予防について学び、それを日々の生活に生かすことを心がけましょう。

今月の安全衛生 社内自主 テーマ

◎感染症予防継続（コロナウイルス及びインフルエンザワクチン接種は、高齢者及び基礎疾患者においては接種を推奨する）

◎STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施に伴い、熱中症予防対策として各自でこまめな水分補給・規則正しい生活等の予防対策を行う

今年度の行動指針

「慣れと油断は気の緩み ルールを守り 安全確認」

「毎日が 新たな決意と実行で 感染予防 健康職場」

ご安全に！